

~~~~~  
このたびの大震災で被災された組合、組合員の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。全ク連では組織の力を結集し、被災者支援につつまして、できることから始めております。ぜひとも全国の皆様の協力をお願い申し上げます。  
~~~~~

●全ク連三役らが東日本大震災で被災された組合を慰問

青山亨会長を中心に全ク連三役らは東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県、宮城県、福島県並びに茨城県へ赴き、組合の理事会等の会合に出席した。岩手県と宮城県では被災した組合員の店舗や工場等を視察した。

各会合において、組合から組合員の安否、被災状況等の報告があり、また全ク連からは震災直後からの対応として、3月17日時点での支援策に沿って全ク連賦課金、全国生命共済掛金等の免除策や義援金の募集方法、政府や行政等への陳情等について説明した。

その後、意見交換を行い、組合からの要望を含め今後の対応について話し合いの場がもたれた。また、全ク連役員からの見舞金が、今回は岩手県組合、宮城県組合と福島県組合に手渡された。

全ク連は被災された組合や組合員の方々に対し、これらの要望や被害状況に対応した、長期的な支援を行っていく。

【茨城県組合（森本久夫理事長）】

青山会長、柴田専務理事らは4月10日（日）、茨城県に赴き、組合事務所（水戸市）で開催された理事会に出席し、被害状況等について報告を受けた。



茨城県組合の理事会の様。写真右より3人目が森本理事長

【岩手県組合（古澤淳理事長）】

青山会長、柴田専務理事は4月23日（土）、岩手県に赴き、岩手県組合の山名相談役と作山専務理事とともに、甚大な被害を受けた沿岸地域の陸前高田市、大船渡市を視察した。大船渡市では津波被害で自宅兼店舗が全壊し、熊野神社に避難している新沼氏を慰問した。また、津波被害を受けた古澤理事長の店舗・工場の現状を視察した。

翌日の4月24日（日）には、キャラホール（盛岡市）で開催された理事会に出席した。



岩手県組合の理事会。写真中央が古澤理事長

【宮城県組合（鎌田厚司理事長）】

青山会長、柴田専務理事は4月24日（日）、岩手県から宮城県にバスで向かい、夕方から法華会館（仙台市）で開催された会合に出席した。

翌日の4月25日（月）には、鎌田理事長と伊藤副理事長とともに、被災にあった組合事務所（多賀城市）から沿岸の被災地を視察した。

仙台市宮城野区では津波で全損した小松副理事長の店舗、津波で浸水した多賀城市の本郷理事と塩釜市の佐藤氏の店舗、最後に東松島市ではお亡くなりになった岩淵ご夫妻の店舗跡地を視察し、花を手向けた。



訪問した組合員店は大きな津波被害を受けており、
かろうじて建物の基礎部分を残すのみとなっていた

【福島県組合（竹谷正男理事長）】

高田副会長らは4月24日（日）、福島県に赴き、福島県組合事務所（福島市）で開催された会合に出席した。

高田副会長からは埼玉県に避難している福島県組合の組合員の近況について、竹谷理事長からは地震や津波に加えて、原発事故による避難生活、風評被害等についての報告があった。

会合終了後、竹谷理事長と伏見専務理事とともに、組合事務局近くのあずま総合運動公園内に避難されている相双支部の藤橋氏を慰問したが不在であった。



福島県組合での会合。写真右が竹谷理事長

《各種情報を発信中です》

全ク連ホームページ <http://www.zenkuren.or.jp/>

全ク連ツイッター <http://twitter.com/zenkuren>